

## 令和元年度 南丹市立美山中学校 学校園経営計画(スクールマネジメントプラン) 中間評価

学校・園教育目標	学校・園の現状分析	学校・園経営方針(中期経営目標)			
<p>ブロック教育目標 「ふるさとを愛し 夢や希望に向かって 自らを高める 美山っ子の育成」</p> <p>学校教育目標 一人権の尊重を基盤として、心豊かで、 たくましく生きる生徒の育成を図る一</p> <p>〈目指す生徒像〉 ○思いやりのある生徒の育成 ○主体的に学ぶ生徒の育成 ○心身ともに健康で勤労と責任を重んじる生徒の育成</p>	<p>○生徒は落ち着いた穏やかな学校生活を送り、学習や行事・部活動に真面目に取り組んでいる。与えられた課題を着実にこなしていくが、より高いものを求めて、主体的に取り組む姿勢が定着することで、さらに力を発揮できる。</p> <p>○少人数の中で互いの思いを察したり、トラブルを回避しようとしたりすることが定着している。そのことで、議論して結論を出す経験や理論立てて発表し、相手に理解を求める機会が不足している。コミュニケーション能力、表現力を高め、よりよい人間関係作りや学びの成果を十分に発揮させる必要がある。</p> <p>○保護者・地域の学校教育に対する理解は深く、好意的である。地域の子どものリーダーとして、小学校・保育所とも連携し、地域の諸活動への参加を促し、地域連携を強化する。</p>	<p>京都府・南丹市の関係指針に基づき、公教育として地域の期待に応えるため、「特色ある・地域とともにある学校作り」に努める。</p> <p>(1) 教職員一人一人が学校運営への参画意識を高め、組織として「基礎・基本のより一層の定着」と「活用する力の育成(思考力・判断力・表現力の育成)」「学習意欲の向上」を目指した授業改善を通して、地域社会の信頼に応える教育を推進する。</p> <p>(2) 生徒一人一人の自己肯定感を高めながら、その個性や能力を伸ばすとともに、規範意識やコミュニケーション能力などを高め、良い人間関係づくりのできる生徒集団の育成に努める。</p> <p>(3) 教職員研修を充実させ、教職員一人一人が、豊かな人間性、広い社会性及び専門性を基盤とした実践的指導力の向上を図る教師集団づくりを目指す。</p> <p>(4) 家庭・地域との連携により、「地域とともにある学校」として、互いの活性化につながる関係づくりを目指す。</p>			
		成果	評価	課題	改善策等
<p>豊かな心・健やかな心身 道徳教育の充実、特別活動・部活動へのねらいを明確にした主体的な取組により、互いを認め合い尊重し合う生徒集団を育成する。また、交流及び共同学習等を通して、「心のバリアフリー」を推進する。 * 自己肯定感80%以上・人権尊重認識90%以上</p>		<p>○体育祭や文化祭などの行事に目標を持って前向きに取り組む、充実感を得ている。</p> <p>○育ち合う子らの集いやボランティアに多くの生徒が参加している。</p> <p>○仲間との人間関係や信頼感を肯定的に捉えている。</p>		<p>○部活動の大会が重なり、ボランティアに参加したくてもできない状況があり、障害児者理解の機会が不足している。</p> <p>○部活動に継続して意欲を持って取り組むことができない生徒が見られる。</p>	<p>○ボランティアの機会を拡充していただくとともに、学校としても積極参加を促す。</p> <p>○話し合い等による生徒の目標共有や顧問の指導によって意欲を喚起する。</p>
<p>確かな学力 学ぶ意欲を喚起し、主体的・対話的で深い学びにつながる授業作りに努め、学習成果を堂々と発表する生徒を育成する。 * 学習内容が理解できていると回答する生徒70%以上 * 公的テスト(調査)で基礎基本領域75%以上の通過率</p>		<p>○全ての教科で、80%の生徒が「よくできる」と回答している。</p> <p>○授業に前向きに取り組もうとする姿勢がうかがえる。</p> <p>○自主学習に継続的に取り組んでいる。</p>		<p>○対話的な学習場面では、議論が深まりにくく、十分な効果が得にくい。</p> <p>○発表の声が小さい。</p> <p>○自主学習の内容の充実を図る。</p>	<p>○ペア学習や隣席での意見交換などを通して、対話や発表を日常的に行う。</p> <p>○研修への参加や他校の実践に学ぶなど、教員の授業力を向上する。</p> <p>○自主学習の内容を交流するなどして、より効果的なものにする。</p>
<p>地域とともにある学校 地域学校協働活動や熟議を通して、地域・学校がともに理解を深め、互いが活性化する関係性を構築する。 * 学校・地域の関係についての肯定的回答90%以上</p>		<p>○コーディネーターの配置により、地域連携のルートが構築されつつある。</p> <p>○地域理解や地域の発展について構想する学習を計画的に進めている。</p>		<p>○地域の方に学校に足を運んでいただく機会を設定する。</p> <p>○地域の活性化等に対して学校の働きかけが十分できていない。</p>	<p>○行事の内容や案内の仕方の工夫によって、来校機会を拡充する。</p> <p>○生徒の地域行事への参加を促していく。</p>
<p>働き方改革 会議の資料配付や提案の工夫により会議に要する時間を短縮する。また、校務支援システムの有効活用により、快活に生徒に向き合う。 * 南丹市業務改善ポリシー3年時の各目標数値を70%以上の教員が達成</p>		<p>○終了時間を設定した会議により、資料準備や協議の効率化を図る意識が高まっている。</p> <p>○校務支援システムの運用について、徐々に技能が高まりつつある。</p>		<p>○生徒の指導の充実に結びつく意識を持った働き方改革を進めていく。</p> <p>○時間外や休日の指導を解消することは難しい状況である。</p>	<p>○教員の豊かな生き方が、生徒への指導の充実につながるという意識を職場として高めていく。</p>